

『炎環』ゆかりの地鎌倉へ

読書・心の旅クラス 課外授業

日時11月18日

歴史 文化 自然を訪ねて



建長寺



建長寺の庭



長谷寺



鎌倉文学館

多くの文人の原稿
がありました



鎌倉史跡巡り



石井美晴

十一月十八日読書教室授業の一環として鎌倉の史跡巡りに行った。
早朝荒川を出発し、大黒パーキングで休憩して鎌倉に向かい見学。

建長寺【臨済宗】鎌倉五山第一位

先ず目にしたのは大きな総門【巨福山】次にまた立派な三門（建長寺は山門ではない） 桜上に釈迦、羅漢が安置されているそうだ。

続いて仏殿、『芝の増上寺から移設』御本尊【地蔵菩薩】大きな仏像に手を合わせる。前の庭園に樹齢七百六十年の（びやくしん）があり大きさに皆で声を上げ驚き、そこから法堂、御本尊【千手観音】天井に雲龍図、約八十畳分の大きさ、迫力満点で素晴らしい図、又釈迦苦行像があり、見過ごしてしまいそうだが何故か心に残る像だった。

方丈の（心字池）、国宝の梵鐘を見ながら長谷寺に向かう。



長谷寺【浄土宗】鎌倉後期に建立

上ると目の前に大きな本堂。御本尊【木造十二面観音】日本最大級。
手を合わせ家族の健康を願いお参り、輪蔵が観音様の命日（十八日）
特別に開いていたので回転式の書架を回し心がすっきりした。
鎌倉の海を眺めながら鎌倉文学館に徒歩で行く。

鎌倉文学館

鎌倉に居住、滞在して創作活動をしていた、川端康成、夏目漱石他
多数の文学者の原稿、手紙など展示、多くの文学者が鎌倉を好んだ事
を知る。又バルコニーから眺める広々とした庭園で初めての花を見
つけ、素敵な洋館をバックに記念撮影。



三浦三崎で海鮮丼のランチ、買物をして帰路につきました。
何度か鎌倉は観光で行きましたが、今回はゆっくり見学し少しは
知識が増えた小旅行でした。



さようなら！！ 又、来てね～